# 令和7年度事業計画

# 公益社団法人 横浜歴史資産調査会 (ヨコハマヘリテイジ)

# 1. 設立経緯、現状及び当公益社団の取組

### (設立の経緯等)

当公益社団は、「歴史的な資産を大切にし、活用することによってまちの魅力を創っていく」という趣旨に 賛同する歴史的建造物に係る専門家の団体として、1988年(昭和63年)に「横浜市歴史的資産調査会」と して発足しました。

これまで、横浜市都市整備局都市デザイン室等と連携して歴史的建造物の調査や保全活動に関する研究を 進め、横浜独自の「歴史を生かしたまちづくり」を推進してきました。平成21年6月に一般社団法人横浜歴 史資産調査会(通称:ヨコハマヘリテイジ)として新たな組織となりスタートを切りました。

さらに、平成 25 年4月に内閣府認定の公益社団法人横浜歴史資産調査会(いわゆる免税団体)として活動を強化し、横浜市と両輪となって「歴史を生かしたまちづくり」を推進しています。

### (現状及び当公益社団の取組)

まちづくりは、街路や公園といったインフラ整備だけではなくその土地固有の歴史的資産の保全・活用を 推進することによって豊かな暮らしを創造することができます。そのためには、市民、自治体、専門家、企 業等が一体となってまちづくりを推進していくための取組が必要です。

一方で、まちづくり専門家の不足、民間企業の社会性の不足、地域住民の当事者意識の不足などが要因となってインフラ整備偏重の箱ものづくりが多くの地域においてみられ、地域文化の消滅、歴史的集落や町並み景観や環境の破壊、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊など様々な問題を生み出しています。

このような様々な問題を解消し、豊かな暮らしを創造するまちづくりは、地域の人々の継続的な努力によって推進される必要があります。生活の場としての地域の発展の変遷を認識し共有しながら、歴史を生かしたまちづくりを推進して参ります。

このような観点から、当公益社団の「歴史を生かしたまちづくり」は、調査、保護、活用、普及の4本の柱を軸に地域事業を推進することにより地域に活力をもたらし、地域力やシビックプライドの醸成に有効な方策であります。将来にわたり、地域の関係の皆さんが一丸となってまちづくりを推進するために必要な事業であるとの認識のもとに、引き続き以下の令和7年度事業を実施します。

# 2. 令和7年度事業計画

(基本的考え方)

歴史的資産は、人々の生活と共に地域に息づき親しまれ豊かな景観をもたらしており、個性あふれるまちづくりのための貴重な資源となっています。

しかし、歴史的資産を将来にわたり保全していくことは容易なことではありません。このため、日頃から 歴史的景観形成に必要な歴史的建造物を失わないため、歴史的遺産の保全と活用に関する調査研究、取得・ 保存、修理・復原、維持・管理等の事業や、歴史的資産に関する人材育成及び普及啓発活動を実施する計画 や提案等を実施いたします。

さらに、「歴史を生かしたまちづくり」を推進するためには、市民の理解や支援を得るとともに積極的に取り組むことができる人材を確保することが重要となっています。このため、「歴史を生かしたまちづくり」に関するセミナー、シンポジウム、見学会等を開催し、「歴史を生かしたまちづくり」を積極的に行います。

## (1)調査事業

#### く負担金事業>

① 横浜市との協定書に基づく建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物を保全、活用するため、横浜市都市整備局との協定書に基づく調査事業として歴史的建造物保全活用計画関連の調査等を実施します。

この調査は、所有者へのヒアリング、歴史的建造物に関する文献調査、写真撮影、現地確認、関係図面の作成、地図へプロットする等により実施し、調査によって得られた知見を当公益社団の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり」の内容検討に活用するとともに、具体的な歴史的建造物の保全・活用における方針の策定や横浜市登録、認定歴史的建造物、または、国登録有形文化文化財、重要文化財指定等に向けた課題を整理し、所見の作成等を行います。

また、野毛都橋商店街ビルの将来に亘る保存・活用・修理・管理計画調査を行います。

#### <自主事業>

① 建築家 J.H.モーガン自邸の再建に向けた調査(藤沢市)

火災により焼損した建築家 J. H. モーガンの自邸の再建を目的に事業を行って参りました。 令和3年度に当公益社団に設置した「旧モーガン邸再建委員会」を中心として、NPO 法人旧モーガン邸を守る会・藤沢市等と連携し、「復元再生調査報告書」(平成29年度実施)に基いて再建に向けた 具体的な再建、活用、管理のための調査等を継続して参りました。しかし、建設費の高騰、藤沢市との土地所有区分の関係など、事業の方向性を再調整することになりました。今年度は、復原ではなく、モーガンの自邸としての再建に向けた新たな取り組みに照準を合わせ、モーガン邸再建委員会や ワーキング会議を引き続き開催します

### ② 横浜市内近代化遺産調査

約10年前に行った近代化遺産としての鉄道遺産調査は時間が経過し、その後の現状把握が行われていません。一昨年、鉄道開業150周年記念事業として文化庁の助成のもと、神奈川県内の鉄道遺産調査を行い現況を把握し、報告書を発行、配布、写真展の開催などを行っています。

今回は、その中から歴史、文化、技術的等に優れた対象を選び、将来にわたり保存、活用することを目的とした調査を行うのもであります。

当公益社団の相談役 堀 勇良氏、専門委員 小野田 滋氏らを中心とした既存の鉄道遺産調査隊を強化し、実施いたします。

### ③ 山手地区西洋館などの保全対策調査

令和4年~5年にかけて山手地区西洋館の保存、活用のあらたな展開を模索する所有者、関係団体などにヒヤリングを行って来ました。

新たに令和5年度から都市デザイン室が歴史まちづくり法にもとづく事業等をおこなうことになりましたが、当公益社団は、独自に将来に亘る西洋館や周辺の歴史的資産の保存活用に向けてヒヤリングを行います。

\*協力予定: NPO 法人山手アーカイブ

\*参考;開港5都市の函館市元町、末広町、神戸市北野地区、長崎市東山手、南山手地区は国の重要 伝統的建造物群保全地区に選定されています。

### ④ 「歴史を生かしたまちづくり相談室」関連の調査

### ◎伊藤美弓家住宅のアトリエ現況調査(神奈川県鶴見区馬場)

令和5年に相談室で対応し、水沼淑子(関東学院大学名誉教授・当公益社団専門委員)が所有者への ヒヤリングや現況調査を行っています。昭和30年代に既存の住宅に増設する形で建設された画家の アトリエです。洒落たデザインの木造平屋であり、戦後建築としても重要。詳細な調査に向けて所有 者との調整を行います。

### ◎稲荷山の生糸商の現況調査(長野県千曲市稲荷山・重要伝統的建造物群保存地区)

稲荷山地区は、信州の絹文化の交流拠点としてまた、横浜と生糸交易で繁栄しました。現在でも約650mに及ぶ歴史的町並みには、かつての反物や生糸関連の土蔵造り商家が軒を連ね、当時の賑わいを偲ぶことができます。

地元の研究者と共に稲荷山と横浜の交易に関する調査を行い、絹産業がもたらした地域の経済、文化交流の証を解き明かします。

また、絹文化を紹介する交流文化拠点整備の検討調査をいたします。

## ◎横浜焼き・井上良斎窯場等の保全対策調査(横浜市南区南永田)

近代横浜の陶磁器産業として真葛焼きと並び発展したのが横浜焼きです。現在、登り窯や作業場、住居が当時のまま残る貴重な事例で、所有者により保存されています。当地は湧水が豊富で、その地形を利用した自然観察の場としても活用されています。将来にわたり、歴史的陶磁器生産の場と谷戸の自然地を併せ持った地域資産として保全する方策等を市民、行政、専門家、当公益社団が力を合わせて行います。

## (2) 保護事業

#### <自主事業>

歴史的資産の調査結果に基づき、保護事業を行います。保全が必要とされる歴史的建造物等には支援体制を整えます。さらに、保護事業対象として位置付け、保存、活用を目的に取得、修理、管理等の取り組みを積極的に行います。

## ① 「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理(横浜市中区野毛)

当公益社団の保護資産第1号である「野毛都橋商店街ビル」の保全・管理を行います。横浜市都市デザイン室と力を合わせ、将来にわたる保全・管理計画を策定いたします。

### ② 「旧湘南電気鉄道瀬戸変電所」(現・京浜急行電鉄・横浜市金沢区瀬戸)

瀬戸変電所は、旧湘南電気鉄道時代の貴重な遺構です。平成26年から変電所に勤務していた方々へのヒヤリング調査を皮切りに平成29年度、30年度の耐震、地盤調査、令和2年度、令和3年度建物の耐震補強や修理計画、さらに令和3年度に行った事業化の検証を基に保存、活用、管理に関する実践的な調査を行ってきました。この結果、令和6年度に京浜急行電鉄から具体的な寄贈範囲が示されたことを受け、令和7年度は、変電所建物の寄贈を受けることを前提に将来にわたる保存、活用、管理計画を策定いたします。

なお、令和元年度に当公益社団が設置した「旧湘南電鉄瀬戸変電所保存活用委員会」(委員長後藤治・工学院大学教授・当公益社団理事)を引き続き開催します。

### ③ 建築家 J.H.モーガンの自邸 (藤沢市) の再建・保存・活用事業の推進

火災で焼損した J.H.モーガンの自邸の復元再生調査報告書(平成 29 年度実施)に基づき、再建事業を推進します。公益財団法人日本ナショナルトラストから焼失した建物と敷地約 2,000 坪の内の約 3 分の 1 の土地の譲渡を受け、NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市、藤沢商工会議所等と力を合わせて再建と活用に向けた資金確保のための募金活動をより推進します。

また、この目的達成のための当公益社団が設けた再建委員会(委員長水沼淑子・関東学院大学名誉教授・当公益社団専門委員)を開催し、先進地の事例研究を行うとともに具体的な再建計画や活用、管理計画を作成します。併せて長年、管理、公開等を行っている NPO 法人旧モーガン邸を守る会と敷地の3分の2を所有する藤沢市との連携を強化します。

#### ④ 山田コレクションの保管庫の取得・保存(北海道江別市)

令和7年2月14日開催の臨時理事会で受け入れが承認された歴史的車両群(通称:山田コレクション、当公益社団法人が代表幹事団体を務める日本鉄道保存協会が所有する北海道の炭鉱で活躍した蒸気機関車15両、日本遺産「炭・鉄・港」の構成文化財)の保管倉庫(篤志家所有の木造平屋建て2棟、土地約600坪)の取得・保存を行います。その経費の為に募金を行います。近い将来、地元江別市や市民団体と力を合わせて一般公開いたします。

#### (3)普及啓発事業

### <受託等の事業>

歴史的資産に関する専門家の育成やまちづくりに関する市民の理解を深めるために横浜市都市整備局からの負担金事業として実施します。

また、公益財団法人横浜市緑の協会から、同財団が管理、公開する俣野別邸や山手西洋館他の活用アドバイス等に関する事業を受託事業として実施します。

- ① 横浜市都市整備局からの協定書に基づく負担金事業
  - ・「歴史を生かしたまちづくりセミナー」を開催します。 テーマは、横浜根岸競馬場、一等馬見所の横浜市歴史的建造物認定を記念して「J.H.モーガン建築の魅力」の予定
  - ・「横濱新聞」第40号を発行いたします
- ② 公益財団法人横浜市緑の協会からの受託事業
  - ・俣野別邸、旧伊藤博文金沢別邸等の職員向け研修セミナーを実施します。
  - ・俣野別邸、馬場花木園旧藤本家住宅等で、市民向けの講座などを開催します。

### <自主事業>

- ① コンサート in ヘリテイジ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol. 11」の開催 「横浜山手芸術祭」の一環としてピアノコンサートを山手西洋館で開催します。
- ② 「シルクロード・ネットワーク協議会フォーラム2025・川越大会の開催支援 シルクロードネットワーク協議会の代表幹事団体として、シルク産業で横浜に繁栄をもたらした関 東甲信越、東北各地等の市町村と連携して発足した同協議会。これまで関連市町村で絹文化の啓発や 関連する歴史的建造物等の保全、活用をテーマに、NPO法人街・建築・文化再生集団(略称RAC) 等と連携し、開催してきました。

「シルクロードネットワーク フォーラム 2025・川越大会 (総会、講演会、シンポジウム、見学会等) の支援をいたします。

これまで横浜市、新庄市、福島市、鶴岡市、南砺市、神戸市、白川郷等で開催しました

③ 「日本鉄道保存協会 2025 年七戸町大会」の開催支援

日本鉄道保存協会(1993設立)の代表幹事団体として、近代化遺産である鉄道遺産(歴史的車両、施設、構造物等)を保存している自治体、鉄道事業者、NPO等の団体等と連携して2025年度は、「南部縦貫レールバス愛好会」(青森県七戸町)で開催します。同協会の総会、講演会、シンポジウム、見学会等の開催を支援します。

④ 全国近代化遺産活用連絡協議会(文化庁)との連携 我が国の近代化に貢献した産業、交通、土木遺産の保存活用を目指して活動する同協議会と連携し、 近代化遺産や鉄道遺産等の保存活用を推進します。

### (4)会員事業 <自主事業>

当公益社団の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ会員の募集と併せて、幅広く会員ボランティアによる活動や見学会等を推進します。

- ① 会報誌『ヨコハマヘリテイジスタイル』を年4回発行します。
- ② ホームページを充実します。
- ③ ヨコハマヘリテイジセミナーの開催 テーマ「J.H.モーガン建築の魅力」

### (5)「歴史を生かしたまちづくり相談室」の運営

横浜市内や神奈川県内等には多くの歴史的建造物等の歴史的資産が数多く存在しています。時代と共に取り壊される運命にある対象も年々増えています。しかし、これらの歴史的建造物は、一度壊してしまうと元には戻せません。また、歴史的建造物の老朽化、居住性の低下、修理費、固定資産税や相続税等などが障害となり、保全・活用を行いたくても出来ないで悩んでいる方が多くおられます。

そこで、様々な相談に対応し、瞬時に調査、保全の提案、修理、住まい手紹介、取得等の有効な手当を 行うことが必要とされていることから、平成 26 年に「歴史を生かしたまちづくり相談室」を開設しまし た。この相談室は、将来にわたる「歴史を生かしたまちづくり」に大切な、歴史・文化資源を確保するこ とを目的として運営に力を注いできました。速攻で現地に出向き、相談に応えます。